

日本キャリア教育学会研究推進委員会企画

第6回キャリア教育カフェ実施報告

研究推進委員会の企画「第6回キャリア教育カフェ（キャリア教カフェ6）」の報告です。今回のキャリア教カフェは、12月に韓国ソウルで開催されるIAEVG（国際キャリア教育学会）に多くの会員の皆様に参加していただく目的で、国際交流委員会とのコラボ企画として開催しました。

2022年6月14日（水）19:00-20:30、オンラインによる第6回キャリア教育カフェ（キャリア教カフェ6）が開催されました。今回はゲストに安達智子先生（大阪教育大学 教授）ライアン優子先生（静岡大学 准教授）をお招きし、私（岡部 敦（札幌大谷大学准教授））がファシリテーターとなって「国際学会での発表：ノウハウとコツ」というテーマで話題提供をさせていただきました。

はじめに、ファシリテーターの私からは、国際学会で発表することの意味について、研究者個人としての視点に加え、日本国内の研究発展という視点からも私見を述べさせていただきました。安達先生からは、複数の国際学会で発表されたご経験から、発表要旨の書き方など具体的な情報をいただきました。ライアン先生からは、ご自身の国際学会参加のご経験で得られた成果などもお話いただきました。さらに、12月6日から8日の日程で韓国ソウルで開催されるIAEVGソウル大会に関する発表申し込みの情報なども提供していただきました。30名ほどの皆様にお集まりいただき、現職の高校の先生、国際学会に参加した経験のある大学院生などからも活発にコメントや質問などを出していただき中身の濃い時間となりました。

アンケートでは「パネラーの先生方の 実際の発表資料、プロポーザルの具体例をお示しくくださり、複数の学会の特徴もお聞きできて、大変参考になりました。発表の際に参照された書籍のご紹介もありがたく思いました」「先生方のご研究、ご発表、そして、交流についてうかがえ、尊敬をいたしました。自分は未熟ながら、大きな目標の国際学会の前に、小さなチャレンジに前向きに頑張ってみようと思いました。お礼を申し上げます」「国際学会の研究発表について、これだけわかりやすくお話をいただくことができ、貴重な時間となりました。学会員といたしましても、国際学会とのかかわりについて、深く考えることができました。実際に国際学会でご活躍されております方々のリアルさからも、研究者であり、また学校現場の実践者でもある私自身にとりまして、学校現場と国際学会の研究成果を少しでもつないでいきたいと強く感じました」「大変参考になりました。特に、安達先生のお話が具体的でよかったです」等、多くの貴重な感想をいただきました。

12月のソウルでの国際学会に限らず、多くの皆様が、国際学会という場で日本のキャリア教育研究の成果をご発表いただき、国際交流が活発化するきっかけとなれば幸いです。

皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

国際交流委員長 岡部 敦（札幌大谷大学）

